

西友、2016 年度 社会貢献活動助成プログラムの助成先を決定

認定 NPO 法人フローレンスの「障害児保育園ヘレン経堂」を支援

合同会社西友では、2016 年度 社会貢献活動助成プログラムを通じて、認定 NPO 法人フローレンス（東京都千代田区 代表理事 駒崎弘樹 以下、フローレンス）が、2017 年 2 月に東京都世田谷区・経堂に開園する「障害児保育園ヘレン」（※1）の 3 園目となる「障害児保育園ヘレン経堂」を助成することを決定しました。西友は、日本初の医療的ケア児・重症心身障がい児を長時間お預かりする保育園を支援することで、障がいの有無に関わらず全ての子どもが保育を受け、母親など保護者が働くことを選択できる社会づくりを目指すフローレンスの活動をサポートします。

「社会貢献活動助成プログラム」は、ウォルマート・ストアーズ・インクがグローバルで展開している社会貢献活動の方針に沿って、「機会創出（Opportunity）」「環境（Sustainability）」「地域社会（Community）」の 3 つの分野で、社会的な課題の解決に向けて活動を行っている団体に対して、西友が助成金を拠出するものです。フローレンスに対しては、障がいのある子どもや母親などその家族の社会参加を含む「機会創出（Opportunity）」への取り組みの一環として、2011 年度から 2016 年度の 6 年間にわたり、フローレンスが提供する「訪問型病児保育」サービスの拡大や、ひとり親家庭への病児保育サービスの提供、「障害児保育園ヘレン」や「障害児訪問保育アニー」の立ち上げにも助成を行っています。

今回の助成金は、「障害児保育園ヘレン経堂」の設立に向けて、重症心身障がい児や医療的ケアの必要がある子どもたちの安全・安心な登降園と保護者の負担軽減のため、福祉送迎車の購入に充てられます。ヘレンに通所する子どもたちには、重度の障がいがあり、生命を維持するための医療機器を装備しているため、公共交通機関での移動が困難なことが多くあります。そのため保護者は、遠い距離も徒歩で移動したり、タクシーを使わざるをえない状況にあり、体力的・金銭的な負担が生じているのが現状です。そこで、福祉送迎車を整備することにより、安全な環境で子どもたちの送迎を行うと同時に、保護者の負担を軽減し、就労などの自己実現に取り組む余裕を創出することを目指しています。今回の助成では、「障害児保育園ヘレン経堂」のほか、杉並区の「障害児保育園ヘレン荻窪」および豊島区の「障害児保育園ヘレンすかも」の各施設にも同様の福祉送迎車を提供します。

今回の助成に関して、フローレンス代表理事 駒崎弘樹氏より以下のコメントが寄せられています。「福祉送迎車はヘレンになくってはならないものです。送迎車があることで親御さんにとって送り迎えという大きな苦勞が一つ減り、子どもたちもヘレンに登園でき、遊びや他の子どもたちとふれあう機会が広がるのです。障害の有無に関わらず、すべての子どもたちに保育を届けるためにも今回のサポートは大きな一歩となります。」

西友では、今後も、環境・社会貢献活動を始めとするサステナビリティ（持続可能性）活動を広く多面的に展開してまいります。

※1 フローレンスでは、障害を個人の側にある差別されるものではなく、社会の側に原因があり、社会の制度を変えることで克服すべきものとする『社会モデル』の見地から、「障害児」という漢字表記を用いています。

- 【福祉送迎車の機能概要】
- ・車名：トヨタハイエースバン（福祉車両/車椅子仕様車）
 - ・乗車人数：大型車椅子 2 名＋大人 5 名（車いすの方の乗車人数の増減にも柔軟に対応可能）
 - ・設備：電動リフト付きのため園児・保育スタッフ共に負担なく乗車が可能。ストレッチャーも可。視覚性の高い黄色の手すりやグリップを設置
 - ・その他設備：車椅子固定ベルト（電動ワイヤ式）/パワースライドドア

西友の助成により「障害児保育園ヘレン」に整備される福祉送迎車のイメージ

■ 西友の「社会貢献活動助成プログラム」について

詳細については、西友ホームページ内「社会貢献活動への助成」ページをご覧ください。
<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/society/>

■ 認定 NPO 法人フローレンスについて

2004 年設立。「みんなで子どもたちを抱きしめ、子育てとともに何でも挑戦でき、いろんな家族の笑顔があふれる社会」を目指すというビジョンの基に「親子の笑顔をさまたげる社会問題」を事業を通して解決することをミッションに病児保育事業、小規模保育事業、障害児保育事業、赤ちゃん縁組事業などでも挑戦でき、いろんな家族の笑顔があふれる社会」を目指すというビジョンの基に「親子の笑顔をさまたげる社会問題」を事業を通して解決することをミッションに病児保育事業、小規模保育事業、障害児保育事業、赤ちゃん縁組事業などを展開している。なお、「障害児保育園ヘレン」の詳しい事業概要は、フローレンスのウェブサイトでご覧いただけます。<http://www.helen-hoiku.jp>

〈ご参考資料〉

■ 西友とフローレンスのこれまでの協働について

2011 年 12 月～：「ふくしまインドアパーク」を通じた被災地支援 東日本大震災後、フローレンスの要請を受けて、西友が運営する「ザ・モール郡山」（福島県郡山市）内に「ふくしまインドアパーク」を設置。放射能の影響により屋外で遊ぶことのできない子どもたちに「屋内公園」を提供。保育士資格を持つ施設スタッフが常駐するほか、定期的に遊具の入れ替えを行い、いつでも安心して楽しく遊ぶことのできる場所を提供。（のちに郡山市が遊び場を設置したことからニーズをほぼ充足したと判断し、2015 年 3 月末に運営を終了。）

2012 年 1 月～：ひとり親家庭に対する病児保育サポート 「社会貢献活動助成プログラム」の助成の一つとして、「女性の経済的自立支援」を目的に、フローレンスが提供する低収入のひとり親家庭向け病児保育事業「ひとり親パック」を支援。この助成により、これまでに、ひとり親家庭約 70 世帯に対して、2 年間の病児保育サービスを提供。母子家庭が利用者のほぼ全てを占めるこのサービスにおいて、ひとりで子育てを行う女性が安心して働けるようサポート。2012 年 7 月からは、同プランの提供対象世帯の更なる拡大を目的に、西友の関東所在の店舗にて、店頭での「病児保育募金」も実施。

2013 年 7 月～：「訪問型病児保育」サービス提供地域の拡大支援

フローレンスが提供する「訪問型病児保育」サービスの提供地域拡大を支援。同月以降、埼玉県川口市、東京都府中市、西東京市、千葉県船橋市へのサービス展開が実現。

2014 年 4 月～：「障害児保育園ヘレン荻窪」の立ち上げを支援 フローレンスが設立する日本初の「障害児保育園ヘレン荻窪」の立ち上げを支援。障がいのある子どもの受け入れ先が極端に不足している「障がい児保育問題」を解決し、障がいの有無に関わらずすべての子どもが保育を受けられる社会、保護者が働くことを選択できる社会の実現を目指すフローレンスを支援。

2015 年 1 月～：「障害児訪問保育アニー」の立ち上げを支援 フローレンスが提供する日本初の居宅訪問型保育事業「障害児訪問保育アニー」の立ち上げを支援。この助成により、保育スタッフの研修費など事業開始初期にかかる資金をサポート。「障害児訪問保育アニー」では、訪問看護ステーションと連携し、慣れ親しんだ環境で個別対応が必要な子どもそれぞれに合った保育と訪問介護サービスを提供。

「障害児保育園ヘレン」に通う子どもたちの様子